



秋祭り



荒神社（楠木一丁目）

昔は約100m南の荒神山（現在扇町市営住宅）に、1,000㎡ぐらいある、松林の中に祭られていた。

昭和5年本堂・鳥居・とうろう・手洗鉢等の増改築が、風呂ヶ迫・泉原の氏子によって行われ、戦前まではお祭りに酒食をもって集まり、どろ太鼓をたたき子供すもうなどがあった。またそばに杵崎神社が安置してあり、杵崎講も開かれていた。

昭和41年に周南団地造成のため、当地（敷地132㎡）に移築されたものであるが、現在も火災よけの神様として、春秋の彼岸の中日にお祭りが行われている。

杉の森神社

毛利藩主が別荘を建てたところ、夜ごとに不思議なことがおこるので占ってもらうと、これは杉家の亡霊のたたりといわれたので、館の近く（乗兼）に宮を建て祭られた。

明治17年に興元寺境内に移されたが、鳥居の左側の柱に日月宮殿安楽而住、文久元年（1861年）辛酉吉祥日と、右側の柱に神坐鳥居入從此身、萬延二（1861年）辛酉年三月吉祥と彫っており、とうろうにも文久元年辛酉吉祥日と彫ってある。社の中に「かみしも」のようなものが祭神として祭ってある。

5月9日にとうろうを立て、前夜祭があり、10日に祭りが行われている。9月28日には扉が開かれ供養がある。

